

太田道灌 武将。江戸城を築き、和歌・連歌にも通じた風流人であったが、戦上手を警戒され、悲劇的最期となった。

おおたどうかん

明賢易回復・1432 = 生、太田氏は、丹波国桑田郡太田郷の出身といい、父資清のときに扇谷上杉氏の家宰を務めた。

永享の乱始・1438 = 6歳：

嘉吉の乱・・・1441 = 9歳：

・・・・・・1446 = 14歳：元服して資長と名乗る。

・・・・・・1450 = 18歳：

・・・・・・1453 = 21歳：従五位下・左衛門大夫に任じられ、

古河公方始・1455 = 23歳：*父が武蔵で足利成氏軍と戦った時に主家の上杉顕房が討死したため、家督を譲られて家宰職を嗣ぐと、以後、文武両面で目覚しい活躍をして行く。

・・・・・・1456 = 24歳：_防備を固めるため江戸城を築き始め、

道灌江戸城始1457 = 25歳：*完成すると、以後本拠とし、引き続き父と岩槻・川越にも築城を開始。

寛正大飢饉始1459 = 27歳：

・・・・・・1464 = 32歳：上京し将軍に謁する。

応仁の乱始・1467 = 35歳：

・・・・・・1468 = 36歳：

足利義政隠居1473 = 41歳：政真も成氏に敗死して、跡を山内上杉顕定の弟定正が嗣ぐと両者を支えて、_上杉家発展に導き、

加賀一揆始・1474 = 42歳：*江戸城に心敬を招いて、有名な「武州江戸歌合」を催す。

・・・・・・1476 = 44歳：_武蔵国青松寺を建立。関東管領山内上杉顕定の家宰長尾景信の子景春が、古河公方足利成氏と結んで顕定にそむくと、主君上杉定正とともに、顕定を助けて景春と戦い、

応仁の乱終・1477 = 45歳：武蔵江古田・沼袋原に景春の与党豊島泰経らを破り、

・・・・・・1478 = 46歳：武蔵小机・鉢形両城を攻略、この頃、_剃髪して道灌と号する。

・・・・・・1480 = 48歳：_景春の乱を鎮定。

_関東の在地武士を糾合して戦い名声は高まったが、かえって顕定・定正の警戒するところとなり、

山城国一揆・1485 = 53歳：江戸城に万里集九を招く。

太田道灌暗殺1486 = 54歳：*定正により暗殺された。